

補習生各位

九州実務補習所運営委員会

単位充足方法について

修了考査を受験するには講義、考査、課題研究において、必要単位を取得する必要があります。各単位（講義出席単位、ディスカッション・ゼミナールへの出席単位、考査単位、課題研究単位）が不足している補習生は、下記要領により、不足単位を充足して下さい。

記

【講義出席単位、ディスカッション・ゼミナールへの出席単位不足の充足について】

講義における修了考査受験要件は、270 単位以上を取得し、この中に以下の単位が含まれていることです。

① J 1 対象講義の単位が 180 単位以上

② J 2 対象講義の単位が 40 単位以上

【2015 年期以降に入所した補習生】

上記に、通常講義（ライブ講義）による単位を 12 単位以上含むこと

③ J 3 対象講義の単位が 20 単位以上

【2015 年期以降に入所した補習生】

上記に、通常講義（ライブ講義）による単位を 6 単位以上含むこと

④ ディスカッション及びゼミナールの単位が 15 単位以上

【2015 年期以降に入所した補習生】

上記に、J2 又は J3 で実施するゼミナールによる単位を 3 単位以上含むこと

⑤ 【2010 年期以降に入所した補習生】 指定された必修科目を受講すること

【注意事項】

※単位認定研修単位は通常講義（ライブ講義）単位に含まれない。

※ゼミナール単位は通常講義（ライブ講義）単位に含む。

※遅刻・早退等で受講が完了していない科目を再度受講した場合、前回受講時より

長く受講していた場合に限り、単位が更新される。

（例：J1 時に 2 時間受講した科目を J2 時に 3 時間受講した場合、2 単位⇒3 単位に更新）

取得単位が必要単位に満たなかった場合は、次の方法により不足している単位を取得することができます。

1. 下位学年の通常講義（ライブ講義）を受講する

下位学年の通常講義（ライブ講義）を受講し、自身の不足している学年の単位を充足することができます。九州実務補習所では、事前に「申込」と「受講料振込」をすることにより下位学年の通常講義（ライブ講義）を受講することができます。「講義受講・ディスカッション等受講申込書」にて、申し込んでください。

なお、座席確保の関係上、講義の申込期限は、「受講する講義科目実施日の1週間前まで」です。締め切りを過ぎた申込みは受け付けない場合がありますのでご注意ください。

また、受講料については、「受講する講義科目実施日の3日（土日除く）前まで」に必ず振込んで下さい。

2. 下位学年のeラーニングを補講として受講する

下位学年のeラーニングを受講し、不足している学年の単位を充足することができます。

- ◆ 下位学年のeラーニングを視聴する場合は、事前手続きなしで視聴が可能です。
- ◆ 視聴した科目分の請求書が月毎に機構本部から届きます。請求書が届いたら至急振り込んでください。振込がない場合は単位付与いたしません（請求書通りに振り込まないと「修了考査受験要件証明書」を発行しません）。

3. 各実務補習所運営委員会にて認定された実務補習単位認定研修会を受講する

単位認定研修会の情報は、実務補習所サイトに掲載されます。

また、単位認定されている会計教育研修機構主催のセミナーは、会計教育研修機構サイトから確認してください。

【単位認定研修会を受講における注意事項】

- ◆ 実務補習単位認定研修会の受講による単位は、受講した学年の単位として付与されます。
- ◆ 継続生の受講による単位は「第3学年（J3）」の単位として付与されます。
- ◆ 実務補習単位認定研修会の受講による単位は、通常講義単位に含まれません。
- ◆ 各学年において取得が可能な単位の上限は下記の通りとなり、上限を超えた単位は無効となります。

第1学年(J1)	21単位	第2学年(J2)	6単位	第3学年(J3)	3単位
----------	------	----------	-----	----------	-----

4. ディスカッション及びゼミナール単位について

「ディスカッション及びゼミナール15単位」については、通常講義（ライブ講義）と同様に下位学年のディスカッション及びゼミナール講義を受講し、自身の不足している学年の単位を充足することができます。「講義受講・ディスカッション等受講申込書」にて、申し込んでください。

申込期限は、座席確保の関係上「ディスカッション等開催日の1週間前まで」です。締め切りを過ぎた申込みは受け付けない場合がありますのでご注意ください。

また、受講料については、「受講するディスカッション等実施日の3日（土日除く）前まで」に必ず振込んで下さい。

【考查単位について】

考查における修了考查受験要件は、「10回の考查をすべて受験」し、「合計60単位以上取得」し、「各考查につき40点以上取得」することです。

考查単位における修了要件を充足するためには、「考查」または「追考查（試験）」を受験して単位を充足する必要があります。

1. 下位学年の考查の受験について

申込みについては、考查実施日の約1か月前に開設される会計教育研修機構の専用サイトから申し込んでください。

2. 考查単位の追考查（試験）での充足について

本年実施される追考查（試験）を受験して単位を充足することが可能です。追考查（試験）は年度末で順次実施されます。実施要領は決定次第ウェブサイトに掲示します。

考查・追試験いずれの場合も、考查回によっては科目が変更となることがあります。

申込みは、下位学年の考查受験同様に会計教育研修機構の専用サイトから申し込んでください。

【課題研究単位について】

課題研究における修了考查受験要件は、「6回の課題研究をすべて提出」し、「合計36単位以上取得」し、「各課題研究につき40点以上取得」することです。

課題研究単位における修了要件を充足するためには、「課題研究の再提出」を行って単位を充足する必要があります。

1. 下位学年の課題研究実施時の再提出について

本年実施される各課題研究にて再提出を行って単位を充足することが可能です。申込みについては、会計教育研修機構の専用サイトから申し込んでください。

2. 課題研究の再提出について

継続生およびJ3は、8～9月に実施される最終単位不足者に対する再提出課題研究（追課題研究）にて再提出を行うことで単位を充足することが可能です。

最終単位不足者に対する再提出課題研究（追課題研究）は8～9月に実施されます。実施要領が決定次第、ウェブサイトに掲示します。

※追課題研究の提出の対象者は、継続生及びJ3のみとなります。

※追課題研究提出はあくまでも、最終的な充足手段ですので、追課題研究に頼らず課題研究の再提出で単位を充足するよう心がけて下さい。

【講義・ディスカッション等受講料・考査受験料・課題再提出料の支払いについて】

「講義受講・ディスカッション等受講」

講義・ディスカッション等受講 1 コマにつき 3, 0 0 0 円

振込先口座

- ・ 金融機関：三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店
- ・ 預金種別：普通預金
- ・ 口座番号：0 1 4 9 0 8 6
- ・ 口座名義：一般財団法人 会計教育研修機構 九州実務補習所
代表理事 手塚 正彦

※ 振込の際には、氏名の後に「補習生カード番号」を記載すること。

「考査受験・課題研究再提出」

考査 1 科目につき 1 5, 0 0 0 円

課題再提出 1 課題につき 1 5, 0 0 0 円

振込先口座

会計教育研修機構サイトに掲載された口座に振り込んでください。

以 上